

# 原稿をお寄せ下さい

編集委員会では、広く本誌読者諸氏からの投稿をお待ちしています。

本誌所定の原稿用紙（ご連絡いただければすぐに送付致します。）をご使用のうえ、漁業、さけ・ますに関する論説、文献紹介、調査・試験報告、記録、史料、紀行、アイデア紹介および随筆などお寄せ下さい。

なお、本号から企画の「マイ・フォト」には、皆さんの激写を期待しています。

採用分には、基準により薄謝を進呈いたします。

「魚と卵」 151号原稿  
締切 56年1月末日

## 送り先

(062)

札幌市豊平区中の島2条2丁目  
水産庁北海道さけ・ますふ化場

「魚と卵」編集委員会

## チリー研修員、只今特訓中！

本年9月末、わが国の海外技術協力計画（中南米技術協力計画）によってチリーから2名の研修員がさけます人工ふ化技術習得のため来場した。

研修期間は56年3月までの6ヶ月であり、この間各支場管内において捕獲採卵～ふ化放流技術をマスターするため現在勉強中である。彼らの活躍を大いに期待する。

### マリオ・ウンベルト・プチ

（チリー漁業庁アイセン支局プエルトアイセン支所長、1950年11月11日生30歳、趣味～バスケットボール、フィッシング、好物～テンプラ、スシ）

### ロドルフォ・アギレベニヤ

（チリー漁業庁コジャイケふ化場技官1951年11月24日生29歳、趣味～バレーボール、アクアラング、陸上競技、好物～テンプラ、スシ、ギョーザ）